

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。
夏休みいかがお過ごしですか？暦の上ではもうすぐ立秋なんて驚きですね。
私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動しています。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

- 1 続々・給食をめぐる保護者の新しい動き—橿原市
- 2 続々・給食をめぐる保護者の新しい動き—奈良市

■ 1 ■ 続々・給食をめぐる保護者の新しい動き—橿原市

7月10日、かしはらきゅうしょくカンガルー！メンバーと、橿原市教育委員会、
橿原市産業振興課、JAならけん東部経済センターの方とで懇談を行いました。
橿原市の学校給食の現状としては、約1万食を提供しており、地産率は約8%。
地産食材はJAから納入しているということで、かしはらきゅうしょくカンガルー！もJAと協力する形で力になれる方法がないか話し合いました。地元の農業を盛り上げていきたい、顔の見えるものをこどもたちに食べてもらいたい、という想いはみんな共通。ゆくゆくは協議会を立ち上げて大きな取り組みにつながる「形」をつくることも視野に入れつつ、まずは小さくても確実に一步一步進むことを大切に、準備や話し合いを重ねていきます。

7月30日には、「八釣山」特別栽培米生産事務所の体験田んぼで畔の草刈り&生きもの探しをしました。見つけた生きものは、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシと呼ばれるがタニシとは異なる外来種。ピンクの卵が特徴）、ツチガエル、ヤゴ、オタマジャクシ、ショウリョウバッタ、カマキリ、オケラ、キリギリス、イトトンボ、などなど。田んぼの中は、持ち主山尾さんの水管理のおかげでほとんど草が生えていないので、畔の草を刈りました。

その後は、つきたてのさなぶり餅をいただきました。さなぶり餅は奈良に昔か

ら伝わる、つぶし小麦ともち米を一緒についたきなこ餅で、田植えを終えた農家の人たちが無事農作業を終えたことを田の神様に感謝して食べるものです。また半夏生（夏至から数えて11日目）の頃に食べるので半夏生餅とも呼ばれるそうです。田植え前に収穫される旬の小麦を使うこと、小麦を使った餅だからこそ夏に食べても胸やけしないことなど、さなぶり餅の話をお聞きしながら、子どもたちも何度もおかわりをしていただきました。こどもたちに農体験や自然体験をさせたいと参加してくださっている方がほとんどですが、大人も知らないことがいっぱい、毎回楽しんでくださっているのを感じます。

■ 2 ■ 続々・給食をめぐる保護者の新しい動きー奈良市

7月6日、奈良市で給食に関心のあるママたち6人が集まり初会合が開かれました。子ども園や学童でおやつはどうしてる？給食の牛乳は？パンは？魚は？しいたけは？などなどそれぞれの家庭で食や給食に関して気になっていること、これまで学校や園に要望したことやその対応、たくさんのお話で盛り上がりました。そしてみんなの意見が一致したのは、

- ・アレルギーの子や、添加物や放射性物質を食べたくない子などいろいろな子どもがいる中で、できるだけ「みんなが食べられる」給食を目指したい
- ・給食の流れをちゃんと知りたい

ということでした。そこで9月に奈良市保健給食課にお話を伺いに行くことになりました。自分の子どもたちが食べている給食の流れや中身をしっかり知って「みんなが食べられる給食」を目指して活動していきたいと思います。

● 来月もお楽しみに♪ ●

メルマガ発信元 : きゅうしょくカンガルー！(奈良の学校給食を考える会)

E-mail : oishiikyusyoku@gmail.com

facebook : <https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

事務局 : 生活協同組合コープ自然派奈良内(奈良市今市町40-1)
